

方針	1	実施期間	8月16日～17日
事業名	おびひろ納涼祭 ※帯広市まちなか催事支援採択事業（一般枠）		
実施場所	帯広駅北多目的広場		
実施主体	おびひろ納涼祭実行委員会		
参加者（来場者）数	約1,000人		
来年度の実施について	<input type="checkbox"/> 同じ内容で実施する <input checked="" type="checkbox"/> 内容を一部変更し実施する <input type="checkbox"/> 実施しない <input type="checkbox"/> 未定		
実施した事業の内容	<p>第5回おびひろ納涼祭を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トラックステージの設置、ステージ企画の運営</li> <li>・縁日、大道芸等の実施</li> <li>・ビアガーデンの実施</li> <li>・キッチンカー等、移動販売の実施</li> </ul>		
<b>事業実施により中心市街地活性化に寄与した効果・事業を通じて感じたことなど</b>			
<p>「おびひろ納涼祭」の実施により、帯広駅前の中心市街地には多くの来場者が集まり、市街地近隣の飲食店や小売店の売上向上につながったと考えられます。まちなかでの開催により観光客も訪れ、地域住民との交流を通じて新たな一体感が生まれました。こうした交流は、地域コミュニティを強化するだけでなく、SNSやメディアを通じて広く発信されることで帯広の魅力が広まり、観光誘致や移住促進といった長期的な効果へとつながる可能性もあります。</p> <p>さらに、子どもや学生がステージで活躍する姿は家族や教育関係者を呼び込み、まちなかを訪れる動機を自然に生み出しました。従来の祭りにはなかった新しい楽しみ方を提供することで、市民にとって「まちなかに行けば何かがある」という期待感を育むことができました。これにより、イベント当日の賑わいとどまらず、日常的にまちなかへ足を運ぶきっかけが生まれ、中心市街地全体の持続的な活性化へとつながったと考えます。</p> <p>総じて「おびひろ納涼祭」は、経済的な効果、観光的な効果、そして社会的な効果を同時に生み出し、帯広のまちなかを再び人々が集う場所へと変えていく契機となりました。</p> <p>一方で、課題も明らかになりました。今回は猛暑や降雨といった天候、さらに他イベントとの日程重複により来場者数が想定を下回る結果となり、日程調整や天候対応策が今後の課題です。広報についてもポスターやSNS、口コミへの依存度が高く、情報発信の波にばらつきがありました。当初予定していた新聞掲載回数が得られなかったことも、集客に影響した要因と考えられます。より計画的で安定した広報体制の構築が必要です。また、運営は実行委員やボランティアの献身に支えられていますが、その負担は大きく、役割分担や人材確保が今後の重要な課題となります。資金面では当日の売上に依存しており、持続可能な財源確保が求められます。来場者の増加に伴い、導線管理や安全対策、駐車場の確保といった運営環境の整備も一層必要になると感じました。</p>			